



笠間市 地域包括支援センター
KASAMA

包括ケア会議だより

Vol.7
R4.1.24

こんにちは。笠間市地域包括支援センターです。

オミクロン株の感染拡大が深刻です。皆様くれぐれもご自愛ください。

さて、今年度の包括ケア会議は個別事例検討会として開催しています。今回は当事者家族のほか、訪問看護事業所、居宅介護支援事業所、社会福祉協議会、社会福祉課、保健センターの皆さんにご参加いただきました。

★支援困難事例について検討しました。

今回検討したのは「世帯それぞれに介入が必要なケース」です。

世帯は、「精神疾患の治療中で介護が欠かせない」「精神疾患が明らかだが治療につながらない」「高齢で就労機会が減り家計が苦しい」など、それぞれが課題を抱えています。

そこで、当事者家族の思いを伺いながら板書して状況を整理しました。各専門職からは、介護の問題に対しては「デイサービスを検討してはどうか」、経済的な問題に対しては「障害年金や手当受給の手続

きをしてはどうか」「生活保護の相談をしてはどうか」などの意見が出ました。

また、障害年金等の受給にあたり「まずは精神科受診が必要」など優先順位を確認しました。

さらに、当事者家族だけでは負担が大きい手続きについては参加した専門職が役割分担して支援することになりました。

当事者家族の参加と、各専門職の積極的な提案により、今後の支援に手ごたえが感じられる会議になりました。

11月の検討事例の経過報告

★「独居で認知症のケース」

別居の親族がご本人の精神的な不穏を理解するに至り、親族が本人を連れて精神科の医療機関を受診した結果、入院治療を開始することになりました。



困難事例でお悩みでしたら、一緒に事例検討しませんか？

下記までご連絡よろしくお願いたします。



笠間市地域包括支援センター TEL 0296-78-5871